

◆◆◆ 「緊急地震速報講演会」及び「緊急地震速報関連機器展示会」開催

平成 21 年 12 月 1 日（火）、気象庁と緊急地震速報利用者協議会は日本教育会館のイツ橋ホール（千代田区イツ橋）で平成 21 年度緊急地震速報講演会「あなたを 大切な人を 守りたい」を開催しました。また、緊急地震速報利用者協議会では、気象庁の後援のもと、「緊急地震速報関連機器展示会」を同ホールのホワイエで開催しました。

今年で緊急地震速報に関する講演会も 3 回目を迎えました。初期のころは緊急地震速報の仕組みや利用方法などを主とした緊急地震速報の周知広報を目的とした内容でしたが、今回は、実際に緊急地震速報を活用している具体例などをあげて地震への対策をわかりやすく解説する内容となりました。

講師にはフリージャーナリストの池上 彰氏と危機管理アドバイザーの国崎 信江氏の両氏を迎えました。池上講師は、NHK テレビの「こどもニュース」のお父さん役を長期間担当したことからご存知の方も多いと思います。子どもからお年寄りまで身近なニュースを優しいタッチでわかりやすく解説することで定評のある方です。同氏は「子どもを災害から守りたい」～日本海中部地震の教訓から～と題して、多くの小学生が犠牲となった日本海中部地震を実際に取材した体験から地震防災への心構えや対応についてわかりやすく講演されました。後半は、気象庁地震火山部管理課土井地震情報企画官と Q&A 形式で、緊急地震速報についての解説が行われました。

国崎氏は「家庭でできる地震対策」～我が家の対策事例～と題して、実際に同氏がお住まいになっている自宅をモデルにした緊急地震速報の利用の具体例を説明するとともに防犯全般についての対策にも触れられました。自宅に緊急地震速報を取り入れ、避難通路確保のためのドアの自動開放や閉じ込め防止対策として二つのドアのあるトイレ、大きな揺れによる物の落下や飛散の防止対策など防災に対する対策の様子をビデオにより紹介されました。また、緊急地震速報受信端末のあるべき姿などについても言及され、緊急地震速報利用者協議会の取り組みにも大いに参考となりました。

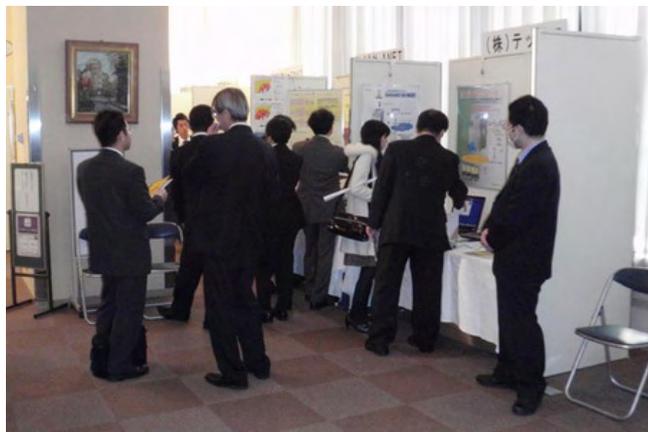


講演会会場の様子



講師の池上 彰 氏
(気象庁提供)

緊急地震速報関連機器の展示会は、～来て 見て 知って 活かそう緊急地震速報～をテーマに、今回で3回目を迎えました。いつものことながら事務局では、事前広報、出展者募集、リーフレットの作成、展示ブースに必要な什器のレンタル手配や展示会場のレイアウトなど短い時間での準備作業を行いました。



展示会の会場の様子

今回の展示には緊急地震速報利用者協議会の会員で受信端末の製造・販売や配信事業を行っている10会員が出展し、それぞれ特徴のある製品やサービスを実際の機器による実演やパネルにより紹介しました。開場とともに来場者があり、講演会の始まりや講演会の終了時は、ホールのホワイエが満杯になるほどの盛況ぶりでした。来場者が実際に緊急地震速報の機器の実演を見たり、出展者へ質問したりして、緊急地震速報の端末機器やサービスを、より身近に感じていただいたため、この展示会は、緊急地震速報の利活用促進の一助となったことと思います。

((財) 気象業務支援センター配信事業部長 加藤芳夫)